



チャイルドライフカウンシル

遊び活動レシピブック

日本語版

監訳 夏路瑞穂
訳 谷川弘治 根ヶ山俊介 松浦和代 小野正子



チャイルドライフスペシャリストが実践している入院見向けの遊びのアイデア集です。

チャイルドライフスペシャリスト、ホスピタルプレイスペシャリスト、子ども療養支援士など、治癒的遊びを実践する方々にご活用いただけます。

医療フィールドで働く保育士、教師など関連分野の皆様にも、参考になることがたくさんあると思われます。ただし、治癒的遊びとして実践されるには専門的な訓練が必要です。

訳者代表 谷川弘治 (西南女学院大学)

『チャイルドライフカウンシル 遊び活動レシピブック 日本語版』

監訳：夏路瑞穂（チャイルドライフスペシャリスト）

訳：谷川弘治・根ヶ山俊介・松浦和代・小野正子

紹介されているレシピの数：63

販売価格：1800円（送料別途） 到着後、お振り込みください。

お申込先：下記アドレスにて部数、郵送先などをお知らせください。

kota@seinan-jo.ac.jp

入金方法：口座記号番号01780-8-164115 加入者 谷川弘治

ゆうちょ銀行一七九店 当座0164115

*お知らせいただきました情報は、レシピブックの発送、ご連絡以外に使用しません。

日本語版の序文「レシピブックの特徴と臨床応用の留意点」より

ここに紹介されている遊びは、アメリカで伝統的な遊び、その中でもいわゆる造形遊びが多いですが、医療場面向き合っている子ども向けに「治癒的な遊び活動(therapeutic play activities)」として再構成されています。これは、心理的不適応などに適用される「心理療法」としての遊びではなく、予防的・発達の観点に立ったものということができます。また、基本的には病棟のプレイルームや病室などの生活場面での遊びであり、遊戯療法(play therapy)のように特別な場を設けての遊びではありません。

この観点からみると、ここで取り上げられている遊び活動には次のような特徴があります。

- ① 子どもの日常性を取り戻すことに重点がある
- ② 体調が悪い中でも比較的無理なく参加し、最後までやり遂げることができる
- ③ 子どもに必要なときには、ゆるやかに、かつ安全に感情表出ができる
- ④ 子どもを取り巻く人々とのコミュニケーションを促進する